

令和5（2023）年度  
徳島大学大学院医学研究科（博士課程）

# （第4次）学生募集要項

（一般・社会人・外国人留学生）

徳島大学

# 令和5(2023)年度 徳島大学大学院医学研究科(博士課程) (第4次)学生募集要項

## ■アドミッション・ポリシー

### 【全学】

徳島大学は、その理念、目標、学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)および教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)を踏まえ、卓越した学術および文化を継承するとともに学びの志と進取の気風をもち、未来へ飛躍する人材を養成するため、課題に対し自ら積極的に取り組む主体性、社会の多様性を理解できる能力、協働性をもった次のような人を求めています。

### ○博士後期課程及び博士課程

- ・広い視野と高度な専門知識・技能を身につけ、自立して研究を遂行し後進を指導する能力、又は当該専門的な職業を牽引できる卓越した能力を修得しようとする人
- ・高い倫理観と強固な責任感、独自の発想力や豊かな創造力、広範な応用力、深い洞察力をもって、地域と国際社会の発展のために高度に貢献しようとする人
- ・高度な国際的視野を有し、世界をリードする研究成果を発信し、高度専門分野を牽引しようとする人

### 【医学研究科】

医学研究科博士課程では、その理念、目標、学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)および教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)を踏まえ、卓越した学術および文化を継承するとともに学びの志と進取の気風をもち、未来へ飛躍する人材を養成するため、課題に対し自ら積極的に取り組む主体性、社会の多様性を理解できる能力、協働性をもった次のような人を求めています。

### ●求める人物像

- ・医学・生命医科学に対する興味と情熱に溢れ、その研究に意欲を燃やすことのできる人
- ・深い探求心を持ち、高度先進医療の開拓に意欲を有する人
- ・卓越した臨床能力を身につけて、地域医療に貢献する意欲を有する人
- ・高度専門医療人として国際貢献することに意欲を有する人

### 【博士課程/医学専攻/博士(医学)】

医学専攻では、先端的な医学・生命医科学の研究活動に必要な高度の研究能力と豊かな学識を備えた研究者ならびに医療の高度化に寄与しうる高い専門知識・能力を持った臨床医を育成し、個性的な研究を進めるとともに生命倫理を尊重し、活力のある大学院として医学の進歩と社会福祉の向上に寄与することを目的としています。このような目的に基づき、つぎのような人を求めています。

### ●求める人物像

(知識・技能、関心・意欲)

- ・医学・生命科学に対する高度な専門知識を身につけ、自らの問題意識を持って主体的に医学上の未解決の問題を解決すべく、意欲と情熱を持って取り組むことができる人

(思考力・判断力・表現力等の能力)

- ・生命倫理を尊重し、ユニークな発想力や広範な応用力をもち、独自の研究成果を国内外に発信することができる人

(主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)

- ・国際的視野を有し、世界をリードする研究成果を発信し、高度先進医療の開拓に貢献しようとする人

### ●入学者選抜の基本方針

- ・個別学力試験では、英語の読解力・表現力及び専門分野に関する知識・技能を評価します。
- ・面接では、試問試験を含み、主として知識技能、関心・意欲、思考力・判断力・表現力、主体性、協働性を総合して評価します。

(社会人入試)その他に、社会人大学院生としての志望動機、就学環境、大学院修了後のビジョンについても評価します。

## I 募集人員

定員 51人 今回募集人員 31人

専攻名	領域等名	分野名
医学専攻	発達予防医学	機能解剖学, 小児科学, 産科婦人科学, 細胞生物学, 消化器内科学, 予防医学, 公衆衛生学, 医療教育学, 総合診療医学, 生体防御医学, 微生物病原学
	神経情報医学	顕微解剖学, 生理学, 精神医学, 脳神経外科学, 生体機能学, 医療情報学, 薬理学, 麻酔・疼痛治療医学, 腎臓内科学, 救急集中治療医学, 臨床薬理学, 眼科学, 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学, 臨床神経科学
	再生修復医学	分子病理学, 消化器・移植外科学, 低侵襲・遠隔治療学, 心臓血管外科学, 泌尿器科学, 循環器内科学, 疾患病理学, 放射線医学, 呼吸器・膠原病内科学, 胸部・内分泌・腫瘍外科学, 法医学, 皮膚科学, 運動機能外科学, 形成外科学
	生体制御医学	生化学, 血液・内分泌代謝内科学, 遺伝情報医学, ゲノム遺伝情報学, ゲノム医科学, 分子機能解析学, 糖尿病学, 細胞情報学, 分子生命科学, 動物資源研究
	酵素・プロテオミクス医学	感染症病態代謝学, 免疫情報医学, 生体情報統御学
	生体対応医学 (連携講座)	ゲノム機能解析学
	宇宙ライフサイエンス学 (連携講座)	宇宙医科学
	高度生体イメージング学 (連携講座)	イメージングプローブ学, 分子イメージング学

(注) 出願者は、志望する分野を一つ選んでください。ただし、第2志望まで志望することができます。

## II 出願資格

1 入学を志願することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 学校教育法第83条第1項に定める大学の医学, 歯学又は修業年限6年の薬学若しくは獣医学を履修する課程を卒業した者及び令和5年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者(医学, 歯学又は修業年限6年の薬学又は獣医学を履修した者に限る)及び令和5年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における18年の課程(最終の課程は医学, 歯学, 薬学又は獣医学)を修了した者及び令和5年3月31日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程(最終の課程は医学, 歯学, 薬学又は獣医学)を修了した者及び令和5年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程(最終の課程は医学, 歯学, 薬学又は獣医学)を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者及び令和5年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が5年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該

課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和5年3月31日までに修了見込みの者

- (7) 学校教育法施行規則第155条第1項第6号の規定に基づき、文部科学大臣が指定した者  
\*下記注1参照\*
- (8) 大学(医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程に限る。)に4年以上在学し、又は外国において学校教育における16年の課程(医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を含むものに限る。)を修了し、本大学院が、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- (9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、第1号に規定する者と同等以上の学力があると認めた者で、令和5年4月1日までに24歳に達する者

注1 文部科学大臣の指定した者とは、次の各号の一に該当する者です。

- ① 旧大学令(大正7年勅令第388号)による大学の医学又は歯学の学部において医学及び歯学を履修し、これらの学部を卒業した者
- ② 防衛庁設置法(昭和29年法律第164号)による防衛医科大学校を卒業した者
- ③ 修士課程又は学校教育法(昭和22年法律第26号)第99条第2項の専門職大学院の課程を修了した者及び修士の学位の授与を受けることのできる者並びに前期及び後期の課程の区分を設けない博士課程に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた者(学位規則の一部を改正する省令(昭和49年文部省令第29号)による改正前の学位規則(昭和28年文部省令第9号)第6条第1号に該当する者を含む。)で大学院又は専攻科において、大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
- ④ 大学(医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの及び獣医学を履修する課程を除く)を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、大学院又は専攻科において、当該研究の成果等により、大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

注2 出願資格(8)(9)及び注1の③(修士課程を修了した者及び修士の学位の授与を受けることのできる者を除く)④により出願しようとする者は、事前調査が必要となりますので、令和5年1月25日(水)までに蔵本事務部医学部学務課第一教務係医学研究科担当まで申し出てください。

## 2 社会人入試

上記の(1)~(5)、(7)、(9)のいずれかに該当し、病院、教育・研究機関、企業等に職員として勤務しており、入学後もその身分を有し、所属長の受験許可を受けた者とします。

## Ⅲ 出願期間と受付場所

1 出願期間 令和5年2月8日(水)から2月14日(火)まで(土・日曜日を除く。)

2 受付場所 〒770-8503

徳島市蔵本町3丁目18番地の15

徳島大学蔵本事務部医学部学務課第一教務係医学研究科担当

電話(088)633-9649

受付時間は、毎日9時から17時まで。郵送・持参とも2月14日(火)までに必着のこと。

### 注) 安全保障輸出管理について

徳島大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「徳島大学安全保障輸出管理規則」

を定めて、物品の輸出、技術の提供、人材の交流の観点から学生の受入れに関して、厳格な審査を実施しています。規制されている事項に該当する場合は、希望する研究活動に制限がかかる場合や、教育が受けられない場合があります。願書の提出の前に指導教員予定者と相談をするなど、出願にあたっては注意してください。

詳細については以下の研究支援・産官学連携センターのホームページを参照してください。  
<https://www.tokushima-u.ac.jp/ccr/active/ip/yusyutsukanri/>

#### IV 出願手続

##### 1 提出書類等

入 学 願 書	所定の用紙に必要事項を記入したもの（最近撮影した正面、脱帽、上半身縦4 cm、横3 cmの写真をはること。）
受 験 票	所定の用紙に必要事項を記入したもの（最近撮影した正面、脱帽、上半身縦4 cm、横3 cmの写真をはること。）
成 績 証 明 書 (学部及び大学院)	出身大学（学部）長が作成した成績証明書 (出願資格(1)に該当する者は学部のみ。)
卒 業 (見 込) 等 証 明 書	最終学歴の卒業・修了（見込）証明書 出願資格(2)に該当する者については、独立行政法人大学評価・学位授与機構が発行した証明書を添付すること。また授与される見込みの者は、学士の学位の授与の申請を受理した旨の証明書又は学士の学位の授与を申請した旨の証明書を添付すること。
検 定 料 払 込 証 明 書	検定料 30,000 円 検定料を郵便振込の後、受領した「検定料払込証明書（出願用）」を「検定料払込証明書」（本学所定の様式）にはって提出すること。ただし、本学大学院博士前期課程または修士課程を修了し、引き続き進学する者及び国費外国人留学生は不要。 なお、海外在住の志願者については、クレジットカード（VISA、JCB、Master Card、AMERICAN EXPRESS 等）又は中国銀聯カードによる払い込みが可能です。海外からの出願方法等については「X 徳島大学留学生ポータル」を参照ください。
受 験 許 可 書	現に大学院（博士課程・博士後期課程）に在学中の者は、所属長が作成（様式随意）したもの 官公庁、会社等に在職中の者は、所定の用紙を用い本人の勤務する職場の所属長が作成したもの
住 民 票 の 写 し	本邦に在留する外国人留学生は、住民票の写しを添付すること。
返 信 用 封 筒	長3形封筒に94円切手をはり、自己の住所・氏名・郵便番号を明記したもの（願書を直接持参する者は不要）
あ て 名 票	本要項に添付の所定用紙に郵便番号、住所、氏名を明記してください。

##### 社会人入試

- 修士課程を修了した者は、選考の際、評価の参考とする場合があるので、修士論文、又はこれに代わる研究概要を所定の用紙を用い、2,000字程度にまとめてください。  
 なお、関連した論文の別刷又は学術講演、特許等がある場合はコピーを添付してください。
- 研究業績を有する者は、選考の際、評価の参考とする場合があるので、所定の用紙（研究業績目

録)に記入してください。

なお、関連した論文の別刷等のコピーを添付してください。

## 2 手 続

- (1) 入学志願者は、出願手続に必要な書類を取りそろえ、出願期間内に提出してください。
- (2) 上記提出書類を郵送する場合は、「書留」とし、封筒に「大学院医学研究科入学願書在中」と朱書きするとともに、一般、社会人、外国人留学生の別も明記してください。
- (3) 出願資格(8)に該当する者は「在学証明書」、「成績証明書」及び「推薦状(所属大学の専任教員が記載したもので密封したもの)」を、出願資格(9)及び注1の③(修士課程を修了した者及び修士の学位の授与を受けることのできる者を除く)④に該当する者は「最終学歴の卒業等証明書」、「入学試験出願資格認定審査調書(本研究科所定の用紙)」及び「研究業績調書(本研究科所定の用紙)」に論文の別刷等を添付し、それぞれ令和5年1月25日(水)までに蔵本事務部医学部学務課第一教務係医学研究科担当に提出してください。

## V 入 試 方 法

入学者の選抜は、学力検査、面接の結果及び成績証明書を総合して判定します。

### 1 学力検査等

- (1) 検査科目 外国語(英語)、志願する分野の専門科目による筆記試験及び面接
- (2) 日 時 令和5年3月2日(木)9時から

外国語(英語)	専 門 科 目	面 接
9:00~10:30	11:00~12:00	13:00~

- (3) 場 所 徳島大学大学院医学研究科 徳島市蔵本町3丁目18番地の15

### 2 成績証明書 出身大学(学部)長が作成した成績証明書を審査し、選抜判定の資料とします。

## VI 障がいのある入学志願者について

本研究科に入学を志願する者で、障がいのある者は、受験上及び修学上の配慮を必要とすることがありますので、令和5年1月25日(水)までに蔵本事務部医学部学務課第一教務係医学研究科担当まで申し出てください。

なお、上記以外の者で配慮を必要とする者もあらかじめ本研究科に相談してください。

## VII 合 格 者 発 表

合格者の発表は、令和5年3月17日(金)午前9時に医学部掲示板に掲示、徳島大学医学部のHPに掲載するとともに、合格者には本人宛文書により、通知します。

なお、電話による合否についての照会には応じません。

## VIII 入 学 手 続

入学手続期間及び入学手続きの詳細については、合格通知時に通知します。

## IX 入 学 料 ・ 授 業 料

### 1 入 学 料 282,000円〔予定額〕

ただし、本学大学院博士前期課程または修士課程を令和5年3月に修了し、引き続き進学する者については、不要です。

### 2 授 業 料 前期分 267,900円〔予定額〕 年間 535,800円〔予定額〕

- (1) 授業料の納付については、申し出により前期分の納付の際に後期分も併せて納付できます。
- (2) 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。
- (3) 入学料及び授業料は現行の金額であり、改定されれば改定額が適用されます。

## X 徳島大学留学生ポータル

徳島大学ホームページに、外国に住んでいて徳島大学へ留学を希望している方のために開設した「徳島大学留学生ポータル」サイトがあります。

学部・大学院の概要，教員・研究者紹介，入学までの手続，各種奨学金，留学生宿舎，就職・進路などを説明しています。徳島大学を知るための参考としてください。

徳島大学留学生ポータル (<http://www.tokushima-u.ac.jp/isc/admission/>)

## XI そ の 他

- (1) 入学願書受付後は，提出した書類の変更及び検定料の払い戻しはできません。
- (2) その他の経費（医学部後援会費等）として，入学手続の際に約 45,000 円が必要です。本学部出身者は一部不要な経費があります。
- (3) 募集要項を郵便で請求するときは，250 円切手をはった自己あて（住所・氏名・郵便番号明記）の返信用封筒（角 2 封筒 33.2 cm×24.0 cm）を同封の上，本学蔵本事務部医学部学務課第一教務係医学研究科担当へ申し込みしてください。（請求の際は「**医学研究科（博士課程）学生募集要項請求**」と明記してください。）
- (4) 出願手続き等に質問があれば，84 円切手をはった自己あて（住所・氏名・郵便番号明記）の返信用封筒を同封の上，本学蔵本事務部医学部学務課第一教務係医学研究科担当へ照会してください。

# 徳島大学大学院医学研究科要覧

(令和4年1月)

専攻名	領域等名	大講座名	分野名	教授名	
医学専攻	発達予防医学領域	発生発達医学	機能解剖学	富田江一	
			小児科学	漆原真樹	
			産科婦人科学	岩佐武	
		病態予防医学	細胞生物学	米村重信	
			消化器内科学	高山哲治	
		社会環境医学	予防医学	有澤孝吉	
			公衆衛生学	森岡久尚	
			医療教育学	赤池雅史	
		微生物学	総合診療医学	谷憲治	
			生体防御医学	安友康二	
		神経情報医学領域	情報統合医学	微生物病原学	野間口雅子
				顕微解剖学	鶴尾吉宏
	生理学			勢井宏義	
	精神医学			沼田周助	
	脳神経外科学			高木康志	
	生体機能学			親泊政一	
	病態情報医学		医療情報学	廣瀬隼	
			薬理学	池田康将	
			麻酔・疼痛治療医学	田中克哉	
			腎臓内科学	脇野修	
			救急集中治療医学	大藤純	
			臨床薬理学	石澤啓介	
	感覚情報医学		眼科学	三田村佳典	
			耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	北村嘉章	
			臨床神経科学	和泉唯信	
			再生修復医学領域	分子病理学	(選考中)
				消化器・移植外科学	島田光生
				低侵襲・遠隔治療学	(選考中)
	臓器病態修復医学	心臓血管外科学		秦広樹	
	泌尿器科学	金山博臣			
	循環器内科学	佐田政隆			
	生体防御腫瘍医学	疾患病理学	常山幸一		
		放射線医学	原田雅史		
		呼吸器・膠原病内科学	西岡安彦		
		胸部・内分泌・腫瘍外科学	滝沢宏光		
	感覚運動系病態医学	法医学	西村明儒		
皮膚科学		久保宜明			
運動機能外科学		西良浩一			
		形成外科学	橋本一郎		



専攻名	領域等名	大講座名	分野名	教授名	
医学専攻	生体制御医学領域	生体制御医学	生化学	佐々木 卓也	
			血液・内分泌代謝内科学	安倍 正博 福本 誠二(※)	
			遺伝情報医学	森野 豊之	
			ゲノム遺伝情報学	峯岸 克行	
			ゲノム医科学	片桐 豊雅	
			分子機能解析学	堀川 一樹	
			糖尿病学	松久 宗英	
			細胞情報学	小迫 英尊	
			分子生命科学	齋尾 智英	
			動物資源研究	松本 高広	
	酵素・プロテオミクス医学領域	酵素・プロテオミクス医学	感染症病態代謝学	木戸 博	
			免疫情報医学	松本 満	
			生体情報統御学	坂口 末廣	
	連携講座	生体対応医学	ゲノム機能解析学	(選考中)	
			宇宙ライフサイエンス学	宇宙医科学	(選考中)
			高度生体イメージング学	イメージングプローブ学	土居 久志
分子イメージング学			渡邊 恭良		

※担当教授（分野に属して大学院生の指導を行うことができる。学位授与に関しては分野に一人の主任教授が責任を持つ。）